



せたがや区議会だより

No.231

平成23年(2011年)7月23日
発行 世田谷区議会

〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27
TEL(5432)1111代表 FAX(5432)3030
http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/

改選後、初の定例会を開催しました 第2回定例会



赤ちゃんへのおはなし会 (世田谷図書館)

議決内容

議決された案件の概要をご紹介します。今回の定例会には、区長から8件の案件が提出され、すべて原案どおり可決しました。また、農業委員の推薦も行いました。

●**条例の新設**
○区長の退職手当特例条例 (全員賛成) 1件

●**条例の改正**
○区税条例 (全員賛成) 1件
地方税法の改正に伴う東日本大震災に係る税制支援の特例措置の規定など。

●**工事請負契約の締結**
○千歳小学校一部改築工事 (全員賛成) 4件
相手方 小侯・中秀建設共同企業体
契約金額 八億五八〇万円
工期 25年2月20日

○世田谷美術館改修工事 (全員賛成)
工期 24年2月15日
希望丘中継所プラントオープンコンテナ改修工事 (全員賛成)

○希望丘中継所プラントオープンコンテナ改修工事 (全員賛成)
相手方 三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社 O&M 事業本部
契約金額 二億七一一万五千円
工期 24年3月30日

●**財産の取得**
○仮称二子玉川公園用地 1件

工事名	相手方・契約金額
改修	清水・徳田建設共同企業体 一億九三二〇万円
機械設備	東熱・大橋建設共同企業体 三億一八一五万円

賛成多数 賛成 長新公頃 み行民主 生米 社民 減税 虹 世田谷 無所属 反対 共産 無党派

相手方 東京急行電鉄株式会社、東急不動産株式会社、学校法人五島育英会
買取面積 五七〇〇㎡
買取金額 二八億二七二〇万円
所在地 上野毛2-1-1の内

●**特別区道路線の廃止**
(全員賛成) 1件

●**農業委員会委員の推薦**
(全員賛成) 1件

●**都市整備常任委員会に付託**
1件
山縣邸全体(三千坪)のまとまった緑、景観、住環境が将来にわたって残るよう折衝、指導することを求める陳情

●**文教常任委員会に付託**
2件
○教育基本法・学校教育法の改正、学習指導要領改訂に伴う教科書採択制度の改善に関する陳情
○家族と祖国との絆を深める教科書の採択に関する陳情

●**会派名等**
自民新 自由民主党世田谷区議団・新風
公明 公明党世田谷区議団
共産 日本共産党世田谷区議団
み行 みんなの党 世田谷行革110番
民主 世田谷民主
生ネ 生活者ネットワーク世田谷区議団
社民 社会民主党世田谷区議団
無党派 無党派市
減税 減税世田谷
虹 虹レインボー世田谷
世田谷 世田谷無所属
無所属 無所属

公職選挙法の規定により、議員の寄附行為や時候のあいさつ状などは禁止されています。

皆さんから新しく出された請願・陳情をお知らせします。

●**請願**

●**願**

●**請願**

●**願**

代 表 質 問

6月13日及び14日の本会議で、6名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

自由民主党世田谷区議員・新風
上高 よしもり議員

厳しい区財政に対する区長の姿勢

質問 震災の影響や社会保障費の増大などを受け、今後区財政は一層厳しさを増す。区政の根幹をなす持続可能な財政基盤の確立に向けた区長の取り組み姿勢を。 **区長** 財政の持続的基盤づくりという難題に先頭に立って取り組む。 **区民参加の取り組みへの評価** **質問** 区長は区長選挙の際、従来の区政は区民の声が届かない体質などと発言した。情報公開や区民参加で全国をリードしてきた区政の取り組みをどう評価しているのか。 **区長** 情報公開条例の制定など大きな成果を挙げたと認識している。

地震に伴う火災への対策の強化

質問 さきの震災を受け、首都直下型地震を想定した区の防災対策の見直しが必要だ。住宅密集地が多い区として最大の被害が想定される火災への対策に全力を注ぐ。 **都市整備部長** 火災対策を重要な対策と認識しまちづくりを進める。 **地域のきずな強化** **質問** 日ごろのご近所づき合いが、災害時に協力し合える関係づくりにつながる。地域のきずな強化に向け、地元を根づいた町会などの団体の活動を一層支援せよ。 **区長** 町会などを積極的に支援し、地域のきずな強化に取り組む。 **地域コミュニティの活性化** **質問** 区長が掲げた地域単位での防災体制づくりには、地域コミュニティの活性化が重要だ。地域を支える支所や出張所などのあり方も含め、今後どう取り組むのか。 **副区長** 区民の意見を伺うため、区長の車座集会を準備している。 **区施設で行う節電対策の周知徹底** **質問** 電力不足が懸念される夏に向け、区施設での節電を徹底すべきだ。節電により休館日をふやす場合などには、区民が混乱しないよう必要な情報を十分周知せよ。

環境対策室長 区のおしらせ特集号など多様な方法で周知に努める。 **世田谷型福祉の継続** **質問** 区は先進的な福祉施策を講じてきたが、財政状況は厳しく無償で給付するサービスなどの見直しは必至だ。今後選択を迫られる福祉施策への区長の見解を。 **区長** 区民を守るための医療と福祉を後退させない決意している。 **梅ヶ丘病院跡地の整備手法の工夫** **質問** 保健医療福祉の拠点づくりに梅ヶ丘病院跡地の活用は有効だが巨額の整備費が課題だ。厳しい財政状況下でも事業を進める手法として有効な民間の発想を生かす。 **梅ヶ丘整備部長** 民間のノウハウを積極的に生かしながら検討する。 **都市基盤整備の着実な推進** **質問** 住民の生命と財産を守る強い意思と長期的展望を持って区は都市基盤整備を進めてきた。再開発事業など、多くの区民が支持し期待する事業を着実に進めよ。 **区長** 区民の意見などを広く聞き、時代に即したまちづくりを進める。 **外環道整備に対する区長の見解** **質問** 外環道は渋滞緩和などによる大きな効果が見込まれ、早期完成が必要だ。区長は凍結か白紙に戻すべきだと発言してきたが、今後、整備事業にどう対処するのか。 **区長** 国に情報開示を求め環境面からも国や都と十分協議を進める。 **産業振興策のさらなる強化** **質問** 区内産業の活性化は区民生活を支える大きな力となる。大震災が起きた今こそ、雇用対策の充実を含め、区内産業振興策の強化に創意工夫を凝らして取り組め。 **区長** 産業界や区民の知恵も借り、区内産業の活性化を図る。 **区の教育施策への区長の評価** **質問** 大震災からの復興に向かう今、強く優しい日本人をはぐくむ日本の教育の真価が問われている。区が全国に誇る特色ある教育施策を区長はどう評価しているのか。 **区長** 教育の充実が本場に大事だとの思いを深くしたところである。

公明党世田谷区議員
諸星 養一議員

区長のリーダー論

質問 東日本大震災により国の価値観が問い直されている。区民が従来の価値観を見直して新しい歴史を刻んでいこうとする今、先頭に立つ区長のリーダー論を。 **区長** 理解する力、共感と想像の力、決断力の3つの力だと考える。 **区の放射線量測定の実施内容** **質問** 区長が行うことを決めた区内の放射線量の測定は、区民の安心を担保するために必要なことだ。どのように測定を実施するのか。 **環境対策室長** 区立校の校庭の地表やプールの水などを測定する。 **災害時の情報伝達手段の拡大** **質問** 災害時の情報伝達手段について、エフエム世田谷を活用し、緊急放送を自動的に受信するシステム内蔵のラジオを高齢者や障害者に無償貸与するなど拡充せよ。 **危機管理室長** 都市部の特性を踏まえつつ、調査や研究に努める。 **梅ヶ丘病院跡地取得の判断** **質問** 区が梅ヶ丘病院跡地への医療介護福祉の拠点整備を検討し始めて3年が経過した。実現可能な整備案を示すとともに、できるだけ早い時期に取得の判断をせよ。 **梅ヶ丘整備部長** できるだけ早く判断できるように検討を急ぐ。 **都市型軽費老人ホームの整備** **質問** 区が都市型軽費老人ホームの整備に着手したことを評価する。今後は公有地を貸し付けることなどにより、低負担で利用できる入所施設の整備を進めよ。 **副区長** 多様な手法により低負担で入所できる施設の整備を進める。 **住宅のリノベーションの促進策** **質問** 建物の価値を高めるために改修するリノベーションは、環境負荷の軽減が期待できる。区内産業育成の観点からも、住宅のリノベーションの促進策を充実せよ。 **都市整備部長** 昨今の財政状況を勘案し、今後の検討課題とする。 **再生可能エネルギーへの転換** **質問** 飯田市ではファンドを活用し、住宅に太陽光発電装置を無料で設置できる仕組みをつくった。区は再生可能エネルギーへの転換に向け、同様の仕組みを導入せよ。 **区長** 飯田市の手法を参考に、さまざまな方面から迅速に議論する。 **みどり33のさらなる推進** **質問** 緑は景観の確保や防災、ヒートアイランド現象の緩和などの役割を担っている。みどり33の取り組みをさらに進め、安全で安らぎのあるまちづくりを推進せよ。 **みどり室長** 今後も区民や事業者と力を合わせ、みどり33を進める。 **第3のほっとスクールの設置実現** **質問** 教育と福祉の枠を越えた子どもと若者の支援を推進すべきだ。再三求めてきた、不登校の児童生徒を受け入れる第3のほっとスクールの設置を早急に実現せよ。 **教育長** 既存施設の活用なども視野に入れ、整備検討に取り組む。

日本共産党世田谷区議員
中里 光夫議員

大震災の被災者への支援策の強化

質問 東日本大震災の被災者を一層支援すべきだ。区はボランティアを集めて被災地に派遣することや区内に受け入れた被災者への被災地の情報提供などに取り組め。 **区長** 被災自治体への支援や区内避難者へのフォローを継続する。 **政策点検方針の見直し** **質問** 保坂区政には、大型開発優先の熊本区政からの抜本的な転換が求められている。大型開発などを聖域とする政策点検方針を見直し、福祉最優先の区政を実現せよ。 **区長** 政策点検方針を引き継ぎ、足らざるところは補強する。 **二子玉川再開発事業の見直し** **質問** 環境の悪化や景観の破壊を招く二子玉川再開発事業を即刻見直すべきだ。超高層ビル建設を伴うII期事業への補助金を削減せよ。 **副区長** 全体工費の一層の縮減などを再開発組合に指導している。 **特養ホームの増設** **質問** 区内の特養ホーム待機者は240人にも上っており特養ホームの増設は区民の強い要望だ。区は増設計画を策定し、早急に整備せよ。 **区長** 創意工夫を重ね、高齢者施設の計画的な整備促進を進める。 **子どもの貧困問題への区長の認識** **質問** 経済格差が教育格差に結びついていて現状を踏まえ就学援助の拡充を再三求めたが、前区長は拒否し続けた。区長は子どもの貧困問題をどう認識しているのか。 **区長** 経済格差と教育格差の関連はまさにあると考えている。 **原発ゼロを目指した取り組み** **質問** 原発ゼロを目指し、再生可能エネルギーの普及に取り組むべきだ。民間のファンドを活用して太陽光発電を推進している飯田市の例を参考に、普及策を検討せよ。 **区長** 普及について、活発な議論をいたしながら素早く取り組む。

みんなの党・世田谷区議員
田中 優子議員

情報公開と区民参加での財政改革

質問 区の財政は基金を取り崩さなければ予算を組めない危機的状況だ。区はどの事業を削り、歳出削減を図るのかを区民に示し、区民参加のもと財政改革に取り組め。 **区長** 予算編成に当たっては、区民に具体的に考え方を示していく。 **財政改革に向けた早急な情報公開** **質問** 区民参加のもとで財政改革を行うには、予算編成前までに区民に情報を公開することが必要だ。区は具体的な財政状況と区の方針を早急に区民にわかりやすく示せ。 **区長** できるだけ早い機会に課題や方針を区民に示せるよう努める。 **サードスペースの積立金の返還** **質問** 区の外部団体であるサードスペースは区との取引で得た21億円を積立金として蓄えている。財政危機の折、積立金の返還を求めよ。 **政策経営部長** 積立金を積立目的に従って活用するよう指導する。 **区役所の十分な非常用電源の確保** **質問** 第1庁舎の非常用電源は規模が非常に小さく、23区の中でも最低の水準だ。非常時に業務を遂行できる規模の電源を確保せよ。 **区長** 非常用電源が極めて乏しいという事態を速やかに改善する。 **災害対策本部のあり方の見直し** **質問** 災害時に電力不足が想定される第1庁舎では災害対策本部が機能しない。大問題だ。災害時に本部を移転したら大混乱に陥る。災害対策本部のあり方を見直せ。 **区長** 現時点でのベストを尽くすという姿勢でしっかりと取り組む。 **防災センターの整備** **質問** 厳しい財政状況の中、庁舎と一体的な防災拠点の整備は困難だ。サードスペースに積立金返還を求め、せめて災害対策本部機能を持つ防災センターだけでもつくれ。 **危機管理室長** 総合的な対策本部を維持する防災機能を検討する。



4月にオープンした等々力プラザサイクルポート (等々力3丁目)

代 表 質 問

世田谷民主党
風間 ゆたか議員

生活者ネットワーク世田谷区議団
桜井 純子議員

NPOの育成活用支援の推進

質問 区長が区民参加促進を柱に掲げたことを支持する。NPOなどを積極的に区政パートナーとして活用し、育成支援を強化せよ。

区長 なかまちNPOセンターの現状を踏まえ、細かく支援する。子どもの被曝対策の早急な実施

質問 子どもの被曝対策が急務だ。小中学校保育園給食の食材産地情報公開と、農産物から放射性物質が検出された地域を制限するなど、対応を区長は直ちに決断せよ。

教育次長 保護者が安心できるように丁寧な情報提供に努める。

保護者ニーズに応じた保育園整備 待機児童解消の為に保育施設は地域偏在を解消し、定員割れも発生した認証保育所ではなく、より保護者ニーズの高い認可保育園や保育室を重点的に整備せよ。

子ども部長 保育ニーズや財政状況を考慮し、施設整備を進める。

学級崩壊といじめの撲滅対策 指導力不足が原因と見られる学級崩壊クラスが散見され、いじめに発展する危険性がある。撲滅対策チーム設置や教員の指導力強化など具体的に取り組め。

教育政策部長 指導力向上サポート室の取り組みをさらに充実する。

学校への不審者侵入対策の強化 区立校の警備は甘く、容易に侵入できる状況だ。東京の11区で既に導入している全校校門オートロック化を世田谷区も取り組め。

教育次長 学校改革などの際に電子ロックの計画的な導入に努める。

高齢者見守り活動での情報の共有 高齢者の見守り事業が災害などの有事の際にも十分機能する仕組みを区は構築すべきだ。見守りに当たる関係者が高齢者の情報を随時共有できる体制をつくれ。

地域福祉部長 情報の共有化の仕組みについて、さらに検討する。

区民参画の推進

質問 大事なことは市民が決めるという考えに立った区政運営が重要だ。区政への区民参画を、自治基本条例の制定も視野に推進せよ。

区長 自治基本条例は基本構想の策定の中でテーマになると考える。女性の視点を盛り込んだ災害対策

質問 東日本大震災を受け、区は災害対策を総点検している。女性や子どもなどが少しでも安全で安心して避難所生活を送れるよう、災害対策に女性の視点を盛り込め。

危機管理室長 さまざまな角度から全庁を挙げて総点検に取り組む。

男女共同参画のさらなる推進 だれもが自分らしく生きていける社会をつくる必要がある。男女共同参画施策を人権政策として位置づけ、積極的に推進せよ。

区長 人権政策の中で男女平等の視点が重要だと受けとめる。

子どもの人権救済制度の創設 子どもの立場に立つて虐待などを解決し、導く子どもオンブズパーソン制度の創設を長年提案してきた。子どもの権利を守るため、創設に向けて積極的に取り組め。

区長 他自治体の例を参考に、準備に向けた作業を始めていきたい。

青少年への切れ目のない支援 思春期以降の子どもと若者の成長を支えるための支援を充実すべきだ。青少年を総合的に支援する窓口や専門部署の設置などにより、切れ目のない支援を行え。

子ども部長 支援内容が多岐にわたるため総合的な取り組みを行う。

精神疾患患者への訪問による支援 在宅で療養している精神疾患患者への支援を充実すべきだ。地域精神保健センターの設置などにより、自宅などを訪問するアウトリーチ型の支援体制を構築せよ。

保健所長 アウトリーチを初めとする施策のあり方を検討する。

一 般 質 問

6月14日及び15日の本会議では、29名の議員が
区政をめぐる諸課題について質問を行いました。
その一部を要約してお伝えします。



「ゆかたを着よう！」の様子
(玉川台児童館)

本文中で使用している省略表記

環境対策室長

梅ヶ丘整備部長

みどりともみず部長

担当部長

保健所長

世田谷保健所長

総合支所

ひうち 優子議員(世田谷)

帰宅困難者対策の強化

質問 東日本大震災の際、帰宅困難者に開放施設などの情報が十分伝わってなかった。駅やコンビニへの貼り紙の協力やマップ作成等、情報提供のあり方を工夫せよ。

答弁 災害対策総点検の中で帰宅困難者対策の充実への検討を行う。

防災無線が聞こえない地域対策 防災無線は災害時の貴重な情報源であるため、防災無線が聞こえない地域は解消は急務だ。

質問 スピーカーの増設や広報車の活用を図るなど、早急に対策を講じよ。

答弁 災害対策の総点検の中で配置場所などの調査検討に取り組む。

電線類地中化の推進 電線類地中化は震災時、電線切断による感電や電柱倒壊の危険性、それにより緊急車両が入れなくなるという問題に有効だ。優先順位を明確にし、着実に進めよ。

答弁 23年度は補助15号線などの路線で約970mを整備予定である。

小泉 たま子議員(自民新)

地区のあり方に対する区長の見解

質問 地区こそが地域行政の礎であり、地区の適正規模と将来ビジョンを示し、出張所改革で低下した地区の力を強化すべきだ。地区のあり方を区長はどう考えるのか。

答弁 全国に先駆けた地域行政制度が再生、蘇生するよう取り組む。

地域行政再生へのスケジュール 区長は招集あいさつで、災害対策と絡め、支所を軸に地域行政にもう一度息を吹き込んでいくと表明した。どのような手順とスケジュールで実行に移すのか。

答弁 急いでやらねばならないというスピード感を持って取り組む。

お元氣高齢者施策担当部署の変更 超高齢化の進展を見据え、福祉領域ではより専門性が高い福祉施策を担うべきであり、お元氣高齢者施策は区民生活領域で所管すべきだ。区の見解を示せ。

答弁 区民生活領域への移管については、今後検討したいと考える。

里吉 ゆみ議員(共産)

京王線連立事業費積算根拠の公開

質問 京王線連立事業費の積算根拠の公開が沿線住民などから求められる中、都は何ら公開せずに計画を強引に進めている。区長は期限を定めた上で都に公開を求めよ。

答弁 引き続き、積算根拠などの情報提供に努めるよう求めていく。

千歳烏山駅前広場計画の見直し 千歳烏山駅南口の駅前広場計画に対し、説明会などでは廃止も含めて見直すべきとの意見が大半を占めている。広場計画は住民参加を徹底して一から見直せ。

答弁 区民の理解を得られるよう努め、計画案の検討を進めていく。

詳細な放射線量測定結果の公表 区の放射線量測定には土壌調査が含まれず、結果は区役所付近のものしか公表されない。詳細な情報の提供に向け、学校などの測定結果の公表と土壌調査を行え。

答弁 保護者に安心していただくよう、公表については工夫する。

あべ 弘幸議員(自民新)

健康診断の受診率向上

質問 区が23年度から導入した特定健診などへの自己負担が受診抑制を招くこととなつてはならない。より適正な自己負担を設定するため、受診率への影響を検証せよ。

答弁 今後、適宜、自己負担導入以降の状況を把握する。

障害者の歯科医療の充実 障害者の歯科診療施設が区内には梅丘の1カ所しかない。障害者歯科診療のニーズの高まりを受け、玉川歯科医師会の施設を利用して障害者の歯科診療を行え。

答弁 今後も、利用状況を把握し、障害者歯科医療の充実に努める。

夜間休日対応の調剤薬局の拡充 区内には、夜間と休日に対応している調剤薬局が北沢地域と玉川地域にしかない。区民の利便性の向上のため、特に初期救急診療所がない砧地域に設置せよ。

答弁 関係機関と調整し休日と夜の調剤体制の確保に取り組む。

福田 妙美議員（公明）

ハートプラスマークの普及啓発

外部から障害が見えない内部障害の認知度は大変低い。内部障害の理解促進に向け、内部障害者であることを知らせるハートプラスマークの普及啓発に取り組み、障害者週間のイベントでのPRなどを通して普及啓発を図る。

住基カードの機能充実による普及

住基カードは身分証明書となり、罹災証明書の円滑な発行などを可能とするが認知度が低い。医療機関への事前情報の提供などの付加機能を充実し、普及を促す。

災害時の重症患者搬送体制の整備

東日本大震災では、避難所で適切な医療を受けられずに亡くなった方が多かった。区は災害時に迅速に重症患者を医療機関に搬送できるよう体制の整備に努め、図上訓練で検証した課題も含め、マニュアルの詳細化を図る。

青空 こうじ議員（無所属）

自治体間交流の一層の推進

川場村などの農村との交流は、区民が自然の豊かさを感じられる貴重な機会となる。区民がさまざまな農村と交流できるように、自治体間交流を一層推進せよ。

児童クラブのおやつを廃止

児童クラブとBOPは同じ場所で活動しており、児童クラブの登録児童のみおやつを提供するのは問題だ。夕食をおいしく食べる観点からおやつを廃止せよ。

区立小のトイレ改修の推進

区立小のトイレは和式中心で狭く、新BOPを利用する障害児や配慮を要する児童は快適に利用できない。トイレのバリアフリー化を含め、改修を推進せよ。

今後、児童の安全安心の観点から必要な対応を進める。

石川 征男議員（自民新）

商店街の活性化に向けた支援

東日本大震災の影響による買い控えなどで商店街の経営状況は極めて厳しい。区は知恵を絞って消費需要を高める効果的な施策を展開し、商店街の活性化を図る。

防災拠点施設周辺の道路整備

大蔵運動公園などの防災拠点となる区施設の周辺道路は、幅が狭いなど災害への対策が不十分だ。災害時の大量の支那物資の搬入などに備え、道路整備を進めよ。

コミュニティバス路線の拡充

高齢化が進む中、だれもが利用しやすい公共交通手段としてのバスの重要性は一層高まっている。区内の公共交通網の充実に向け、コミュニティバス路線を拡充せよ。

桜井 稔議員（共産）

福祉タクシー券の利便性向上

歩行が困難な障害者などに区が交付している福祉タクシー券は、利用できるタクシー会社が限られており不便だ。すべてのタクシーで利用できるよう改善せよ。

駅ホームでの転落防止策の強化

駅ホームでの転落事故はふえており、安全対策は急務だ。乗降客が多い三軒茶屋駅や下北沢駅へのホームドアとホーム柵の設置を区として事業者に強く求めよ。

下馬団地敷地の未利用地の活用

都営下馬団地建てかえ後に生じる大規模未利用地の活用は地域住民の声を聞き検討すべきだ。住民が望む介護施設や避難場所となる公園などの整備を都に求めよ。

地域のまちづくりの有効活用されるよう、都と協議を進める。

唐沢 としみ議員（社民）

区長が目指す区政の基本理念

区長が掲げた情報公開と区民参加を根幹とした区政の実現には、新しい区政の姿を示すためのリーダーシップが必要だ。区長が目指す区政の基本理念を示せ。

車座集会での意見の反映

区長は区民と率直に意見交換する場として車座集会を開催することを表明した。出された意見をしっかりと区政に反映させるために、区長は集会にどう臨むのか。

世田谷の子どもの実情の把握

区長は就任前から子どもの多様な問題に情熱を持って取り組んできた。今後も問題解決への取り組みを区から発信するため世田谷の子どもの実情を十分把握せよ。

平塚 敬二議員（公明）

災害対策用物資の充実

東日本大震災による被害を踏まえ、区が備蓄すべき災害対策用物資の種類や量を検討すべきだ。区立校に設置されている備蓄倉庫を点検し、備蓄物資の充実を図れ。

住宅の耐震化の促進

東日本大震災を受け、住宅の耐震化を検討する区民がふえている。これを機に耐震改修が進むよう、現在助成していない1階のみの改修も助成の対象とせよ。

太陽熱温水器システムの普及拡大

環境先進都市を目指し、家庭のCO2排出量の削減を促進すべきだ。小型でエネルギー効率が高い太陽熱温水器システムの住宅への普及に向け、設置費を助成せよ。

区民のニーズや社会動向などを見きわめて検討する。

菅沼 つとむ議員（自民新）

ものづくり学校のトイレ改修

ものづくり学校は事業者からの賃料だけで運営する計画のはずだが、区は500万円以上の予算をかけてトイレを改修する予定だ。これは当初の計画のとおりなのか。

地域コミュニティ再構築の方策

区長は、地域コミュニティの再構築を目指す取り組みを一層推進すると表明した。地域を支える町会などが既に多くの事業を担う中、どう取り組むのか。

放射線量測定の実施内容

放射線量の測定を求める区民の声の高まりを受け、区長は区独自に区立の保育園や幼稚園、小学校での測定を行うとした。具体的な実施手法や時期を示せ。

板井 斎議員（公明）

被災者支援システムの導入

被災した区民の負担を減らせるよう、平時から取り組むべきだ。生活再建に必要な罹災証明書発行などを簡便に行える被災者支援システムを導入せよ。

電動医療機器利用者の安全確保

電力不足による停電から電動医療機器の利用者の生命を守る取り組みが必要だ。人工呼吸器などを使用している区民の安全確保のため、まずは実態調査を行え。

丸子川にかかる橋の速やかな補修

丸子川には、コンクリート等の亀裂、劣化等が見られる橋が5橋あることが判明している。地域から一刻も早い安全確保を求め、声がある。速やかに補修をせよ。

今年度の工事は、補修の設計を終えた天慶橋を予定している。

和田 秀壽議員（自民新）

分流式下水道区域での雨水管整備

区内の分流式下水道区域における雨水管の整備率を高めることは、豪雨対策として大変有効だ。都と連携して整備を速やかに進めるため、区に専管組織を設置せよ。

区境周辺の地域の防災力の向上

首都圏直下型地震に備え、地域の防災力の向上を図るべきだ。避難所運営などで町会などが区境を越えて連携を強化できるように、区は隣接自治体との連携を進めよ。

地域と連携した学校教育の推進

地域と連携した学校教育は、子どもを地域で育てる上で重要だ。区が進めている世田谷9年教育では、区立小と区立中の連携強化にどのように取り組んでいるのか。

小松 大祐議員（自民新）

債権回収の強化策

区民税などに約180億円の収入未済額があり、財政健全化に向けて歳入確保に一層力を入れるべきだ。専門事業者への委託などにより、債権回収の強化を図れ。

新たな発想による保育行政の推進

他自治体での事業者の活用にも参考に債権管理強化に努めよ。

都市農地保全のための税制改善

地価の高い世田谷においては農地の減少を防ぐには、相続税や固定資産税などの税制面の改善が必要だ。他自治体との連携を深め、国などへ強力に働きかけよ。

制度の改定に向け、他自治体と一層連携し国に強く要望する。

上川 あや議員（虹）

浄水所の耐震性指標は何と0%!!

震災時、区民の飲み水提供の主力を担う浄水所の耐震率は21年度の都の指標で何と0%!!これで安全への備えといえる筈がない。耐震性の確保を都に強く求めよ。

給水車は一般市民に給水はしない

災害時に水の供給が十分に図られるよう、都に働きかける。

地下水浄化で分散型水源の確保を

災害時の業務継続を重視する病院などで、地下水の膜ろ過で専用水道を開く事例が増えている。水コストの大幅削減にもなる同設備を区庁舎に導入してはどうか。

津上 仁志議員（公明）

民間特定建築物の耐震化の促進

病院や高齢者施設などの民間特定建築物の耐震化率が伸び悩んでいる。早急に民間特定建築物の耐震化を進むよう、助成制度などの活用を一層促進せよ。

介護マークの作成

認知症の妻の下着を夫が買う際などにあらぬ誤解を受ける場合がある。介護者への支援策として、介護中であることを示す介護マークを作成し、広く周知せよ。

自転車走行レーンの設置

三軒茶屋駅周辺には違法駐車や放置自転車が多く、自転車が安全に走行できる環境の整備が急務だ。国道246号線と世田谷通りへの自転車レーン設置を実現せよ。

レーンの設置に向け、国や都と連携して諸課題に取り組む。

一 般 質 問

羽田 圭二議員（社民）
地域分散型エネルギー政策の推進

質問 福島第一原発の事故に伴う放射性物質の拡散への区民の不安は大きい。住宅用太陽光発電の普及など、原発に頼らない地域分散型エネルギー政策を展開せよ。

答弁 自然再生エネルギーの普及促進や電力の地産地消を目指す。

耐震改修促進策の強化

質問 耐震改修助成に係る予算が減額されたが、東日本大震災以降、住宅の耐震診断の申請はふえていく。住宅の一部改修への助成の実施も含め、予算措置を検討せよ。

答弁 1階だけでも耐震化される一部改修への助成を検討する。

仮称二子玉川公園の防災機能強化

質問 東日本大震災を踏まえ、仮称二子玉川公園は防災機能を併せ持つ公園として整備すべきだ。避難所機能や避難ルートを確認するなど、災害対策の視点を強化せよ。

答弁 発災後の避難から仮設住宅建設までの活用を想定し検討する。

上山 なおのり議員（自民新）
スポーツ振興に対する区長の見解

質問 生涯スポーツ社会の実現に向け、前区長が推し進めてきた多様なスポーツ振興施策を一層発展させるべきだ。区長はスポーツ施策を今後どう展開するのか。

答弁 前区長のスポーツ振興施策を評価し、積極的に継承する。

災害時の情報提供方法の工夫

質問 災害時の情報提供方法を工夫すべきだ。災害弱者にも情報が伝わるよう、ツイッターなどのデジタル情報と広報板などのアナログ情報の双方を効果的に活用せよ。

答弁 災害対策総点検の中で、災害弱者への対応も含めて工夫する。

避難所でのボランティアの活用

質問 災害時に円滑にボランティアを受け入れ、被災者が必要な支援を的確に受けられる仕組みを構築すべきだ。ボランティアを活用した避難所運営の体制を強化せよ。

答弁 東日本大震災での活用方法を学び、区の避難所運営に生かす。

高岡 じゅん子議員（生ネ）
省エネ機器設置助成の対象拡大

質問 省エネ対策として電気給湯する高効率給湯器の設置などに助成を限ることは、電力への依存度を高めるだけだ。太陽熱を利用した温水器なども助成対象とせよ。

答弁 区民の選択肢の幅を広げられるよう、多様な方策を検討する。

食品の放射能測定の実施

質問 放射能汚染に対する区民の不安は大きい。市民と行政が連携して給食の食材などについて放射能測定を行う小金井市の例を参考に、区も同様の取り組みを行え。

答弁 小井市と同様の取り組みについては、今後の課題とする。

放射能による食のリスクへの対処

質問 放射性物質による食品の汚染に対し、区民が冷静に判断できることが重要だ。「食の安全・安心区民会議」を有効活用し、リスクへの対処法を区民と考えよ。

答弁 食品への放射性物質の影響は、テーマの一つとして検討する。

新川 勝二議員（自民新）
マンショントイレの整備拡充

質問 震災により断水が長期化した場合、飲料水だけではなくトイレの確保が深刻な問題となる。区が進めているマンショントイレの整備拡充のスピードを一層上げよ。

答弁 24年度からの実施計画で計画目標を明らかにする予定である。

木造住宅密集地域の災害対策

質問 区内には木造住宅密集地域が多く存在する。住環境の改善を図る視点に加え、防災上の危険性を解消するため、木造住宅密集地域のさらなる改善に力を注げ。

答弁 防災性の向上に向け、スピード感を持って整備に努める。

家族介護の負担軽減策の充実

質問 家族で認知症高齢者を介護する際の負担は大きく、介護のために転職や離職を余儀なくされるケースもある。家族の負担軽減に向け、さまざまな支援策を講じよ。

答弁 介護に当たっての家族の負担軽減を図るための施策展開に努める。

木下 泰之議員（無党派）
京王線連立事業の情報開示の徹底

質問 京王線連立事業に伴う説明会では、都や区の説明が不十分なばかりか、事業費の積算根拠なども非開示とされた。情報開示の徹底を表明した区長の見解を示せ。

答弁 事業費の情報があらずば、出してほしいと都に求めている。

二子玉川超高層再開発の見直し

質問 さきの震災は、耐震性や停電の問題など、高層施設のあり方に大きな疑問を投げかけた。超高層ビル建設計画が進む二子玉川IIa街区のあり方を根本的に見直せ。

答弁 再開発地区周辺の風害調査や水害対策の徹底を指示する。

発想の転換を表明した区長の決意

質問 区長は、大胆な発想の転換に挑戦すると表明した。原発事故以降、大きな社会意識の変化が起ころ中で、区においても都市再開発事業などを大胆に見直せ。

答弁 大型開発よりも福祉や医療を守っていくことが必要と考える。

中塚 さちよ議員（民主）
被災者支援の強化策

質問 東日本大震災の被災者支援では、看護師等の医療職が求められている。看護師のボランティア活動の促進のため、職場への啓発や潜在看護師の活用を検討せよ。

答弁 専門職の方が仕事を休んで被災地に行けるよう後押しする。

けいれん性発声障害への支援

質問 けいれん性発声障害は医師の認知度が低いため、正しく診断されずに悩んでいる区民がいる。心や難病の相談を受けられる部署が連携し、適切な治療に結びつけよ。

答弁 知識の共有化を図り、きめ細かな支援に向け区内で連携する。

公衆浴場での受動喫煙対策

質問 区民の保健衛生向上に資するべき施設であるにもかかわらず、区内には受動喫煙対策がとられていない公衆浴場がある。全面禁煙とするよう事業者に働きかけよ。

答弁 地域保健の観点から、引き続き事業者への啓発に取り組む。

すえおか 雅之議員（み行）
副区長と教育長の退職手当の廃止

質問 区長が退職手当を廃止する条例案を提案したことは評価する。しかし、提案の趣旨が財政健全化であるならば、退職手当廃止の対象を副区長と教育長にも広げよ。

答弁 聖域なき見直しの議論の中で議論されるべきだと考える。

職員の人件費の削減

質問 財政健全化は緊急課題だ。区民の福祉と生活に直接影響を与える民生費を見直すのであれば、区長や区議会議員はもとより職員の人件費の削減に取り組め。

答弁 国の公務員制度改革の動向も見ながら必要な改革に取り組む。

世田谷からの脱原発都市宣言

質問 原子力エネルギーは経済的な豊かさをもたらす一方、原発事故は人類の生存そのものを脅かすものだ。原発に頼らない社会の実現に向け、脱原発都市宣言を行え。

答弁 脱原発都市宣言も念頭に置きながら取り組みを進める。

三井 みほこ議員（自民新）
あんしん見守り事業の今後の展開

質問 区は高齢者の孤立を防ぐため、あんしんすこやかセンターであんしん見守り事業をモデル実施している。これまでの状況を踏まえ、今後どう事業展開を図るのか。

答弁 評価検証の結果をとりまとめ、事業の仕組みを改善する。

見守りボランティアの幅広い募集

質問 あんしん見守り事業は介護支援ボランティア制度を活用して実施しているため、見守りボランティアは65歳以上に限られている。若い世代も行えるよう改善を図れ。

答弁 事業の検証の中で募集方法を含めた今後のあり方を検討する。

高齢者の相談内容の迅速な共有化

質問 高齢者安心コールに寄せられた相談をまとめた報告書は、後日あんしんすこやかセンターに郵送されている。電子メールなどを活用し、迅速に情報を共有化せよ。

答弁 今後、電子メールによる情報提供について研究する。

佐藤 美樹議員（民主）
不妊治療の表記の工夫

質問 「不」という言葉のイメージから、不妊治療にネガティブな印象を抱く人は多い。区の広報物では「不」を平仮名にかえるなど、言葉の印象を踏まえて工夫せよ。

答弁 当事者の気持ちなどを考慮しながら、幅広く意見をもらう。

区施設への授乳室の整備

質問 乳幼児を持つ母親にとって、授乳室の有無は外出時の負担感を大きく左右する。区施設への授乳室の整備を進め、授乳可能スペースの情報も積極的に周知せよ。

答弁 わかりやすく情報を提供し、場所の確保も区内に呼びかける。

外部の専門家による区財政の検証

質問 区の監査制度には企業の会計監査に相当する機能がなく、ガバナンスとしては脆弱だ。外部の会計専門家による検証や分析を採用し、財政の一層の透明化を図れ。

答弁 財政状況の分析について、適宜さまざまな手法を検討する。

あべ 力也議員（減税）
自然エネルギー政策実現への組織

質問 区長は自然エネルギーを活用するまちづくりを進め、中長期的には電力の地産地消に向けた動きをつくと表明した。この政策の実現に向け、専管部署を設けよ。

答弁 臨時的な合同体制をつくりつつ、専管組織も含めて検討する。

自治体間での迅速な被災地支援

質問 被災地からの職員長期派遣の依頼は、法に基づき都道府県を通じて行われるため、派遣までに時間がかかる。迅速な被災地支援に向け、法改正を国に要望せよ。

答弁 スピーディーな援助ができるよう、都と国に対して要望する。

放射線量測定結果の公表について

質問 区は、区内の放射線量の測定を行う予定だ。区民の健康を守るため、測定値への評価を行うとともに、心配される事態が起きた場合の対応策も十分検討せよ。

答弁 数値とともに国の基準などを示し、区民の不安の解消を図る。

桃野 よしふみ議員（み行）
区施設の最大使用電力量の削減策

質問 停電の回避のため、区は区施設の今夏の最大需要電力を昨年比15%以上削減すると聞く。昨夏の最大需要電力の把握方法、今夏の最大需要電力の管理方法を示せ。

答弁 管理の方策などについて、関係部署間で調整を進める。

中長期的な節電対策

質問 区の節電対策は、照明の一部消灯などの直ちに行える取り組みだけで不十分だ。縦割り意識を払拭し、部門をまたいで省エネ化と電力コスト圧縮に取り組め。

答弁 区として知恵を凝らし、賢い節電を目指していく。

省エネ化のさらなる推進

質問 地元の同意を得られず、今後原発が稼働できなくなる可能性がある。電力供給量の減少を見据え、電力コストの少ないLEDの区施設への導入などに取り組みよ。

答弁 節電対応の長期化が予想され、広い視野で適切に対応する。



プラネタリウムでの「ビッグバンドジャズコンサート」(教育センター)

第3回定例会は9月中旬から開催する予定です



赤ちゃんの歯のお話と歯みがき講座 (松沢児童館)

議会日誌

閉会中に開催された委員会

- 5月26日(木) 企画、区民、文教
- 27日(金) 福祉、都市
- 30日(月) 議運、分権、災害、環境、交通
- 6月3日(金) 議運

会期中の主な会議日程

- 6月13日(月) 本会議(代表質問)、議運
- 14日(火) 本会議(代表質問、一般質問)
- 15日(水) 本会議(一般質問、議案の付託、請願の付託など)
- 16日(木) 企画、区民、文教
- 17日(金) 福祉、都市
- 20日(月) 分権、災害、環境、交通
- 22日(水) 本会議(議案の議決、請願の付託など)、議運

委員会名称

- 企画 = 企画総務常任委員会
- 区民 = 区民生活常任委員会
- 福祉 = 福祉保健常任委員会
- 都市 = 都市整備常任委員会
- 文教 = 文教常任委員会
- 議運 = 議会運営委員会
- 分権 = 地方分権・地域行政制度対策等特別委員会
- 災害 = 災害・防犯・オウム問題対策等特別委員会
- 環境 = 環境・エネルギー問題対策特別委員会
- 交通 = 公共交通機関対策等特別委員会

区議会の仕組み～委員会

区議会で取り扱う問題は数が多く、内容も幅広い分野にわたっています。そこで、これらをいくつかに分けて、専門的・効率的に審査するために委員会を設置しています。

委員会には、条例で設置が定められている常任委員会と議会運営委員会、必要に応じて設置する特別委員会とがあります。現在、世田谷区議会では、5つの常任委員会と4つの特別委員会を設置しています。

委員の任期は、常任委員会が2年、議会運営委員会が1年と条例で定められています。

各委員会の担当事項

◆常任委員会◆

企画総務常任委員会

- ・区政の総合的な企画・調整
- ・補正予算、その他財政
- ・税金
- ・区の組織や職員

に関することなど

区民生活常任委員会

- ・区民生活、清掃・リサイクル
- ・スポーツ振興
- ・女性、青少年対策
- ・国際交流、文化振興
- ・商工農業の振興、消費者対策

に関することなど

福祉保健常任委員会

- ・子ども、高齢者、障害者
- ・介護保険、国民健康保険
- ・区民の健康維持、保健所の運営

に関することなど

都市整備常任委員会

- ・道路、公園などの整備
- ・建築に関する指導、違反の防止
- ・都市計画
- ・住宅対策
- ・緑化の推進

に関することなど

文教常任委員会

- ・小中学校、幼稚園
- ・図書館やレクリエーションなどの生涯学習

に関することなど

◆議会運営委員会◆

- ・本会議における議事運営に関することなど

◆特別委員会◆

地方分権・地域行政制度対策等特別委員会

- ・地方分権
- ・地域行政
- ・国公有地等の有効活用

に関することなど

災害・防犯・オウム問題対策等特別委員会

- ・総合的な災害対策の充実
- ・防犯対策や危機管理対策
- ・オウム真理教問題への取り組み

に関することなど

環境・エネルギー問題対策特別委員会

- ・総合的な環境対策
- ・エネルギー問題

に関することなど

公共交通機関対策等特別委員会

- ・区内の鉄道の立体化
- ・南北交通の整備
- ・外かく環状道路

に関することなど



※このほか、予算を審査する予算特別委員会、決算を審査する決算特別委員会を設置します。

編集後記

○今定例会では、35名の議員が、災害対策の強化や環境施策の充実など、区政のさまざまな課題について質問を行いました。

○区議会定例会は、2、6、9、11月の年4回開かれます。本会議や予算・決算特別委員会が開催される際には、その模様を区役所第1、3庁舎、総合支所、文化生活情報センター内の市民活動支援コーナーで生中継いたしますので、ぜひご覧ください。

○区議会だよりのテープ版とデージー(CD-ROM)版を発行しています。視覚障害のある方などで希望される方には定期的にお送りしていますので、お知り合いでご希望の方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。また、区立図書館では過去1年以内に発行された区議会だよりのテープ版とデージー(CD-ROM)版を貸し出していますので、ぜひご利用ください。

○お問い合わせやお気づきの点がありましたら、区議会事務局調査係までお寄せください。

TEL (5432) 2779
TEL (5432) 3030
FAX (5432) 3030



本紙に掲載された質問、答弁などの詳しい内容についてお知りになりたい方は、会議録(9月上旬発行予定)を「ごらんください」。なお、会議録は、区立図書館、区政情報センター、総合支所、出張所、まちづくりセンターなどに備えてあります。また、ホームページでも「ごらんください」。